

平成26年度個別学力検査（前期日程）における理科（物理）
の試験問題の出題ミスについて

2月25日（火）に実施しました個別学力検査（前期日程）におきまして、「理科（物理）」の試験問題に、問題文の不備による出題ミスがありましたので公表いたします。

受験者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びいたしますとともに、試験問題の確認体制をさらに強化し、再発防止に努めてまいります。

記

1) 出題ミスの内容

理科（物理）の試験問題5頁及び6頁の（問題Ⅲの間3及び間4）の文中に、次のとおり問題文の不備がありました。

① 問題Ⅲの間3（2行目～3行目）

正	・・・n回目の共鳴について、音の波長と音源の振動数を求めよ。・・・
誤	・・・n回目の共鳴について、音の波長と振動数を求めよ。・・・

② 問題Ⅲの間4（1行目～2行目）

正	・・・円筒内の気柱が基本振動する際の音源の振動数の差が δ であった。・・・
誤	・・・円筒内の気柱の基本振動の振動数の差が δ であった。・・・

2) 本学の対応

① 問題Ⅲの間3については、問題文の不備により2通りの答が考えられ、受験者に不利にならないようどちらも正解として対応します。

② 問題Ⅲの間4については、説明文の不備により正答が存在しない設問となり、問題文として成立していないため全員正解として対応します。

（担当：教育推進部入試課）